



名古屋大学脳とこころの研究センター
Brain & Mind Research Center, Nagoya University
第5回 拡大ワークショップ
The fifth extended workshop

総合テーマ：「コロナに負けない！ 継続する脳とこころの研究」

Main theme: Sustaining brain and mind research in spite of Corona

日時：令和2年11月25日（水）17：30～19：30

Time & Date : 17:30-19:30, Wednesday, November 25, 2020

場所：ON Line (ZOOM Webinar)

脳とこころの研究センターの拡大ワークショップですが今年で5回目となります。今回も連携機関との交流をより一層深める事を目的として、各連携機関の第一線でご活躍中の先生方にお集まりいただき、御講演を頂きます。分野が多岐に渡っておりますが、その分野で何がトピックなのか、専門外の方にも分かる様にお話頂く予定です。共同研究のシーズがあるかもしれません。奮ってご参加ください。

総合司会： 前澤 聡 先生（名古屋大学 脳とこころの研究センター）
開会ご挨拶： 祖父江 元 先生（名古屋大学 脳とこころの研究センター）

- ① 演者：川口 典彦 先生（静岡てんかん神経医療センター）
「頭蓋内脳波を通して、てんかんの病態と脳機能を探る」
- ② 演者：則武 厚先生（生理学研究所 認知行動発達機構研究部門）
「霊長類における自己と他者の報酬に関する神経機構」
- ③ 演者：片野坂 公明 先生（中部大学 生命健康科学部）
「機械的な疼痛に関わる侵害性機械刺激の受容機構」
- ④ 演者：衣斐 大祐 先生（名城大学 薬学部）
「神経精神疾患治療薬のエピゲノムを介した精神毒性の発現機構」
- ⑤ 演者：森 大輔 先生（名古屋大学 脳とこころの研究センター）
「ARHGAP10 変異：精神疾患モデルマウスの分子病態」

閉会ご挨拶： 尾崎紀夫 先生（名古屋大学 脳とこころの研究センター・センター長）

↓ 事前申込が必要です(〆切日 11/20) Registration required by Nov 20



https://zoom.us/webinar/register/WN_GHdGw0gqRS-Wn5QXcPI0Zg

TEL: 052-744-2026 /内線 (5249) Mail:bmrc@adm.nagoya-u.ac.jp

【注意事項】

※事前登録の際、氏名については漢字にて入力してください。

When pre-registering, please enter both your surname and first name.

※本学大学院生については、事前登録に使用するメールアドレスは大学より付与されるメールアドレスのみ認めます。(gmail や hotmail は認めません。)

We only accept Nagoya University e-mail address for registration. Student can't use Gmail, hotmail, etc..

※講義当日は、事前登録で登録したメールアドレスへ送られたミーティング ID・パスワードから参加してください。

On the day of the lecture, please join using the meeting ID and password sent to the email address you registered.

※講義中の録画・録音は禁止します。

Recording this class is not allowed.

※出席確認は、講義終了後、受講確認のキーワードの入力 QR コードを映しますので、そこから受講確認キーワードを入力してください。

To confirm attendance, after the lecture, enter the keyword for attendance confirmation. The QR code will be displayed, so enter the attendance confirmation keyword from there.

主催：脳とこころの研究センター／拡大ワークショップ実行委員会

<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/noutokokoro/>

Host: Brain & mind Research Center／Extended workshop executive committee

※大学院学生各位：当ワークショップは令和2年度・基盤医学特論として開講します。